



DOKKYO SAITAMA HIGH SCHOOL

獨協埼玉高等学校

No.

18

2016.8.10



発行：獨協埼玉高等学校 同窓会会報 発行人：玉山 栄一
 〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
 ☎048-977-5441 FAX048-977-2031
 URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

祝・世界遺産登録決定

校長 道廣
柳町同窓会会長
玉山 栄一

自分の土俵

去る6月25日、第19回同窓会総会懇親会が例年通り開催されました。今年も、お忙しい中、加倉井先生が駆けつけて下さり、同窓生もいつものメンバーに加えて、教育実習を終えたばかりの新鮮な顔ぶれの参加を得て、盛大に盛り上がった懇親会となりました。

今年も、長い間本校の教育を支えて下さった三人の先生方がご退職になりました。定年を迎えた国語の長沼先生と、早期退職された英語の林茂樹先生、理科の鷹箸先生です。

今後ともお元気で活躍されることを皆でお祈りしたいと思います。あ

りがとうございました。

さて、今回はこの度決定した、上野の国立西洋美術館の世界遺産登録について述べま

す。ル・コルビュジエ建築作品の一括登録の関連で、日本ではたた一つ

のコレクション作品が本

美術館であります。登

録最初の海の日には、6

800人の長蛇の列となつたと報じられておりました。また、上

野アメ横をはじめ、多くの地元関連施設での

イベントも大々的に開催されたとのこと。東

京東部地区とは少なからぬ関係を持つ本校

にとつても実に喜ばしいことであります。

と言いますのは、本

同窓会の玉山会長(学園評議員)はご承知の通りアメ横幹部であり、

毎年中学校の職業体験にご尽力いただいて

おります。また、本校の受験生・在校生の多くが東京東部地区在住

であり、特に中学は地元を凌ぐ比率で本校の教育を支えてくれてい

る重鎮地区です。そういう意味でも、今回の登録決定を本校関係者一同でお祝いしま

す。

独協埼玉には他にな

い独特のカラーリー、そして自由さがありますよね。

そう、もう卒業した時

点ですでに自分ならではの土俵ができるがつ

るんです。それが証しに必要とされている様子な

だけです。

これからも同窓会をよろしくお願ひいたします

玉山 栄一

※ホームページを区切り

として、会費未納の方への

会報発送を停止させていた

だきます。

1 DOKKYO SAITAMA HIGH SCHOOL 同窓会会報No.18 2016年8月10日

会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、34期12、143名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

同窓会の事業運営費として、1期～17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただくことを致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただきとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願い申上げます。

独協埼玉高等学校同窓会

獨協クラスの今

「現在の獨協埼玉高校のカリキュラムは、二年次

に文系・理系に分かれ、3年次にはさらに細分化された5つのコース制を設定しています。獨協大学への進学を前提に高大連携のカリキュラムのもとに教養教育を行う「獨協クラス設立から10年目となり、設立当初より様々な変更がなされました。そこで今回は、獨協クラスの現在の状況について紹介したいと思います。

■卒業論文を通じて

高校2年次に「獨協クラス」を選択したところから卒業論文の指導はスタートします。卒業論文は、自らテーマを設定し、文献やフィールドワークを通じて問題意識を深め、大学の先生からアドバイスをいただきながら、1,600字以上の卒業論文作成にまとめ上げていきます。

論文作成にあたっては、生徒それぞれが自身の問題意識を深め、表層的理解で満足することのないよう、対話をします。生徒との対話の場は、教師による説得の場ではなく、生徒に眠っている「何か」を引き出す場として最大限に活用しようと意図しています。

最大の眼目は、生徒自身が選んだテーマに誠実に向かって対応します。

●卒論執筆を通して身につく力

①問題意識をもち世の中に向かう力。
②自らの問題意識を世の中に通用する「問い合わせ」に高める力。
③その問い合わせに考察し、解き明かすための証拠を集める力。
④価値のある答えを編み出す力。

⑤他者が理解できるように文章で表現する論理力。

⑥自分の盲点を自覚しつつ多角的に考察する力。

■ギリシャ劇に関して

蛙鳴祭で発表される獨協クラスの劇も様々な試行錯誤が行われ、発展してきました。以下で、劇の過去・現在・未来に関して説明します。

●当初の目的：2400年間の時間を生き抜いてきた台本に触れる

演劇上演取り組みの始まり時点(初年にあたる2008年度)では、2つの目標が自覚されていた。第1に、獨協コースの名譽の確立が必要だと考えられた。というのも、大学進学にあたっての成績基準が大幅緩和され、安易な考え方でこのコースを選択する生徒たちの登場がさけられないことから、芳しくない評判が立ち上るという危惧があった。見るものを圧倒する何かしらの成果物によって、このクラスの存在意義を校内に浸透させる必要があった。

第2に、今を生きる高校生が「古代劇」を上演する経験 자체が実に有意義と思えた。台本を通して異質な他者と向き合うことで、自ずと歴史との対話が実現することになる。人間存在の変わらぬ営みを直視する経験にもなる。

獨協クラスを卒業して…

南雲有咲さん(経済学部経営学科1年)

●次第に見えてきた第3の目的：問い合わせと答え、そして新たな問い合わせの発生

ギリシア悲劇に継続的に取り組む中で、第3の目的が見えてきた。論文と悲劇作品の構成がすっかり対応する関係にあり、演劇上演の経験が論文作成に直接貢献しうることが見えてきた。悲劇は論文と同様に問題提起(=問)から始まり、劇の性格上、この上ない悲劇的結果(=答)に至る。その結果は「新たな問い合わせ」を生むことになる。悲劇の展開過程(=本論)は、問題提起(=問)に対する様々な立場からの検討が加えられる機会となるため、劇を起伏に富んだ見ごたえのある内容構成とする。

●劇のこれから：劇もまた、演技手のために存在するのではない

あらゆる場面で自分自身に対し甘く振る舞つてしまいがちの人が人間だと思われる。スポットのあたる舞台の上では尚更、人間的弱さが隠しおせない。

演技手たちの自己満足気味の舞台や、言葉の力や生身の身体の力が無駄に浪費されている舞台といった残念な成果にならないよう、演技手は、稽古によって言葉を磨き発声を鍛え心身を逞しくし、テーマと観客に向かって必要な準備を施していく必要があります。現在私は、このクラスの存在意義を校内に浸透させる必要がある。

舞台上の役者たちと、テーマを持って世の中に向き合う論文の書き手は、その点で、同質と言える

心身の構えを備えていくのではないか。こうした心身の形成が演劇上演の第4の目標であり、獨協コースの最終目標である論文作成への最大の貢献と私が考えているものである。



獨協クラスとは

市橋怜奈さん(外国语学部ドイツ語学科4年)

私が獨協クラスで得たものは大きく分けて2つあります。

一つ目は、大学のレポート等を円滑に進められる力です。論文や読書ノートでは、読破した資料や現地調査で得た情報の中から必要な情報を抜き出して使用しました。そして、それらをどのように順序で使えば自分の主張をはつきりさせることができます。論文や読書ノートでは、読破した資料

協クラスは「大学の先取り」ができる場所であると思います。例えば獨協クラスには地歴演習や国語研究など、ディベートを中心に行われる授業があります。そこで生徒がすることは、自分の考え方を自分の言葉でまとめて、表現していくという作業であり、その経験の積み重ねは大学に入つて必ず役に立ちます。

また、そういう活動の集大成に位置づけられるのが、生徒が2年間かけて取り組む卒業論文です。あらゆる文献を読み、それを客観的に、かつ自分で自分の言葉でまとめるという作業は、受験勉強をする必要がない獨協コースだからこそできることがあります。獨協クラスに在籍していた頃から、大学のレポートは円滑に進めることができます。

これができない大学のレポートは円滑に進めることができません。独協クラスに在籍していた頃から、大学生になる準備を無意識にしていたのでではなく、どうしていいのかを考えながら述べてきました。これができない大学のレポートは円滑に進めることができます。

自ら考え、自ら学ぶ。獨協クラスは、大学として将来のために必要な「知的好奇心」を育む場所であると思います。

ても諦めず最後までやり遂げるということの大切さを学びました。努力を重ね、論文が完成した瞬間の喜びは言葉に変えがたいものでした。その喜びは努力をした人にしか味わえない喜びだと思います。

私は獨協クラスでの経験は必ず将来に役立つと感じています。獨協クラスを卒業した生徒は、他の生徒よりも論理的に考えることや自分の考え方を文章にまとめるのに優れています。現在私は大学に入学して3ヶ月ほどですが、獨協クラスで訓練されてきた力が日々役立ついると既に感思います。

●



新しい風

新任教員紹介

考える力を持つこと



原田 景

新しい力として



堀内 美希

決意新たに



平井 隆介

4月から本校で理科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。

失敗したとき、「なぜ?」そうなるのか、次に失敗しないように何ができるか考えるとき。

物事に取り組むとき、「なぜ?」従来の動き方をするのか、よりよい動き方を考えるとき。

授業を始めとして、「獨協埼玉生」考える習慣がある」となるような環境づくりに、全力で貢献していきたいと思います。

4月から本校で理科教科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。

4月から本校で理科教科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。

4月から本校で理科教科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。

こんには。今年度より本校で勤めることになりました。堀内美希と申します。担当教科は英語で、高1担任、中学女子バスケットボール部の顧問をしています。

初めて教員となつた私にとって、生徒と共に過ごす日々は驚きと発見に包まれ、彼らの成長を間近で感じらるることを嬉しく思います。

行なわれた体育祭では、私のクラスの総合得点は学年7位と、非常に悔しい結果に終わってしまいましたが、この度縁あり本校で勤務することとなりました。

4月から本校で理科教科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。

こんには。平井隆介と申します。

4月から本校で中学一年生の担任をしています。教科は国語科で、部活動は陸上部の担当です。これまで公立の定時制高等学校に勤めておりましたが、この度縁あり本校で勤務することとなりました。

よろしくお願ひいたします。

4月から本校で理科教科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。原田景と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では、「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。



第37回 蛙鳴祭

今年度は日曜・祝日の開催となります。
ご注意ください。

9月18日(日)・19日(月・祝) 10:00~15:00

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

9月18日(日)		9月19日(月・祝)	
10:00~10:55(55分)	獨協クラス	10:00~11:10(70分)	高校演劇部
10:55~11:40(45分)	コーラス部	11:10~11:35(25分)	ソングリーディング部
11:40~12:05	ソングリーディング部	11:35~12:20(45分)	コーラス部
12:05~13:15(70分)	高校演劇部	レビンステージ(5分)	
13:15~14:45(90分)	吹奏楽部	12:25~13:20(55分)	獨協クラス
		13:20~14:50(90分)	吹奏楽部

入試ミニ説明会
(小ホールにて)

中学校
9月18日(日)
11:00~12:00

高校
9月19日(月・祝)
11:00~12:00 / 13:00~14:00

退職にあたつて

平成27年度をもつて、長

沼孝史先生、林茂樹先生、
鷹箸信博先生が退職され
ました。長い間、獨協埼玉を
支えて下さつてありがとうございました。



長沼 孝史

とは、授業をしなくともよ
いということです。授業が、

そんなに嫌いだったのかとい
うと、そういう訳ではありません。

自分の知識不足か
らしい加減などを教えて
しまつたのではないかとか、

これでいいんだろうか、とい

うと、そういう訳ではありません。

たプレッシャーとかうしろめ

たさから解放されたいと

思つきました。「やり残し

たことがある」という類いの

悔いはあまり残つていません

が、いまでも、「兼好は吉田

氏ではない」という論を読ん

だりすると知らなかつたな

あと、少し後ろめたい気が

します。

退職後どうするのか、と

よく聞かれます。三十五年

間、その日にやらなければな

らないことは、決まっていま

した。その暮らしがどう変

わるのか、もう一度自分で生

活を作り直すということは

どういうことなのか、よく分

かつていません。幸いなこと

私は楽しめる事を、いく

つか持つてますし、買った

まま読んでない本もたくさん

あります。というわけ

で、これからどうするか、メ

ダカに解をやりながらゆつ

くり考えることにします。

長い間、ありがとうございました。

退職してうれしかったこ

ご無沙汰しております

加倉井 憲二

(元理科教諭 2008年退職)

昭和55年(1980年)4月の
開講を目指して、前年から獨協埼

玉高校は突貫工事で建設されい

た。そのころ駅から学校までの道路

の両側はほぼ一面の田圃で、雨の日

はアメリカザリガニがぞろぞろと歩

いていた。多くのいたずら坊主の相

手をしながら26年が経ち、平成18

年(2006年)、学年主任として送

手をしながら26年が経ち、平成18

退職された先生は今

ザミ、ノハナショウブなど日本の原風景を彩ってきた植物は消えてしまつていて。30年前まで、里山として使われていたススキヶ原(萱野)には、竹が入り込み手がつけられない藪になつていて。本来国内に棲息していいた在来種が淘汰され、消滅してしまつていて。そこはキンランやイカリソウなどの貴重な植物の生息地だつたのである。

耕作放棄地や管理されていない竹林に、人の手が入ることによって里山は復活する。單なる緑色一色が自然ではない。単一の植物が一面を埋めているのが良い自然ではない。様々な微妙に色の違う緑色が組み合わざり、様々な昆虫類、両生類などの動物がいて

生物多様性が実現されているのが本来の自然である。身近な自然是手入れが必要である。

昔前、獨協埼玉高校で環境学習

を担当していた者として見沼田んぼの小さな空間を、今、保全保護活動によ

り懐かしい未来を取り戻している次

第である。是非、若

い、中高校生諸君も

参加してほしい。

ホームページ

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kaerunomaru/>
Kaerunomaru で検索



作業風景



耕作放棄地を借り子ども達と里山体験
しています



貴重種を保護しています

第19回 同窓会総会・懇親会開催

決算・予算報告

平成27年度 同窓会決算書

収入の部	
前年度継越金	29,383,864
終身会費卒業生	3,270,000
終身会費既卒生	90,000
利息	2,663
総会・懇親会会費	76,000
祝い金	30,000
雑収入	0
合計	32,852,527

支出の部	
次年度継越金	30,601,339
総会・懇親会費用	675,868
会報費	1,124,296
幹事会費	10,000
慶弔費(花束)	23,220
事務費	0
HP関連	24,864
卒業証書フォルダー	392,940
合計	32,852,527

平成28年度 同窓会予算(案)

収入の部	
35期生 終身会費	3,560,000
H27年度より継越金	30,601,339
合計	34,161,339

支出の部	
総会・懇親会費用	800,000
会報費	1,400,000
幹事会費	30,000
慶弔費(花束)	30,000
卒業アルバム保管用	10,000
企画費	500,000
卒業証書フォルダー	500,000
HP関連	25,000
蛙鳴祭パンフレット紙面代	100,000
ネームプレート	10,000
予備費	30,756,339
合計	34,161,339

その後、懇親会では、加倉井先生、長沼先生にもご参加いただき、在学されていた当時のお話を聞かせていただきました。今回も卒業して間もない同窓会生に多く参加していただき、年齢関係なく話し合う、活気に満ちた懇親会となりました。来年はいよいよ20周年となります。20周年に向けて、さまざまな企画等を考案

されました。総会では事業報告会計報告に加え、同窓会役員一部年に向けた企画等についての話が予算案などが承認されました。また、玉山会長より同窓会20周年に向けた企画等についての話がありました。

中です。自習室の増設やテニスコートや格技場の改修など、変更点もあります。学校見学と兼ねて、ぜひ総会と懇親会に足をお運びください。



私が顧問となつた時、高校生の部員は30名程度いたそうです。いたそうですと、いうのは実は会ったことがないのです。4月の始めに「試合の申込があるので全員集合しよう。ここで来なかつたら部員登録もしないからね」と連絡したところ集まつた2・3年生は9名しかいませんでした。これがスタートでした。ただ、残つた部員達は本当に素直で気持ちのいい子ばかりでした。

獨協湿原も草は伸び放題、もぐらは好き放題、走路なのか、けもの道なのかもわからぬという状態でした。そこを造園の日下部さんの協力や部員達の力で数年かけて、なんとか300mのトラックと呼べるだけのものを作りあげることができました。

そんな子供達の頑張りもあり、県大会に出場することが目標だったものが、2年目には関東

大会に出場するまでに成長していました。その後何度か関東大会に出場させて頂き、現在は3年連続で出場しています。次は全国へと進むよう、目標を新たに努力しています。

陸上競技は個人スポーツだと思われがちですが、私もそう思っていました。しかし、これだけのつらい練習を一人ではやつていけません。一緒に頑張つてくれる仲間がいてこそ、日々の練習に耐えられるのだと思います。また、「強く美しい選手になる為に」と日々の生活から心を鍛えることも忘れないようにしています。

たつた9名から始まつた陸上競技部も現在は中・高合わせて50名に近い、大きな部活となつています。そして今年度、その9名の後輩として入部してきた1年生の生徒が教員となり独協

埼玉に戻つてきました。立派に成長した姿は誠に頼もしいかぎりです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに努力し、走り続けます。

卒業生の皆様におかれましても、応援のほどよろしくお願いします。

(顧問 須藤剛)

「部活動紹介」

第17回

陸上競技部



まほろばの会 32期

報告



32期同窓会幹事
山本理美歩

2016年2月13日、「まほろばの会」の開催にあたり、卒業から2年振りに約130名の32期生が集いました。卒業してからも変わることない、懐かしい校舎やグラウンドに皆思わず目を細めていた姿が印象的です。校長先生をはじめ、在学中お世話になった先生方も参加してくださいり、中学・高校時代の思い出話や現状報告など、たくさんのお話をすることが出来、時間はあつという間に過ぎてしましました。このような機会を設けて頂いたこと、32期生一同、大変感謝しております。

32期同窓会幹事
山本理美歩



案内 33期生「まほろばの会」開催について

2017年2月18日(土)午後、懐かしの食堂に集合!

2015年3月に卒業した33期生のみなさん、学年主任であった中山郁雄先生をはじめ、担任をしてくださった先生方と、20歳をお祝いましょう!多くの33期生が集うことを楽しみにしています。



● 関根
彩乃

教育実習を終え振り返る

と、実にあつという間で、濃い

3週間でした。教壇立たせて

頂いたことや体育祭運営の

手伝い等々で、大学の授業だ

けではわからなかった多く

を実感し、学ぶことが出来ま

した。生身の生徒を相手に

授業する難しさと面白さ、

朝礼や清掃の時間でコミュニケーション

を取る大切さを知

り、私自身の課題を痛感し

ました。また、先生方が受け

持つている授業以外での多くの

仕事を見近で見て、その

忙しさを改めて気付きました。

これらを得出することが出来

たのも母校の皆さんのお陰

です。一生に一度の貴重な

3週間を経験させて頂き、本

当にありがとうございました。

実習中に先生方、生徒達

から教えて頂いたことを胸

に、教師という夢へ向かって

今後より精進します。

● 藤澤
剛士

3週間の教育実習では、

多くの学びと発見があり大

変貴重な経験をすることが

できました。一日一日を通

す。

● 乾
凱雄

2週間という短い期間で

はありましたが、獨協埼玉で

活かしていきたいと思いま

す。

ありがとうございました。

教育実習を 終えて



12期生ホームカミングデー報告

「40歳になら学校へ行こう!」を合いの言葉に、昨年10月10日に行われた12期生のホームカミングデーには、100名ほどの卒業生が母校の学舎に集まりました。遠くは福岡、大阪や愛知からも来てくれました。

「会うのは卒業以来」という同級生もたくさんいましたが、22年前の記憶が昨日のことのようによみがえりました。既にご退職になった方も含めてお世話になった担任の先生方にもご出席いただき、お話をいただきました。

会場では在学当時の話に花が咲き、あっという間の2時間でした。その後も2次会・3次会とせんげん台駅近くの居酒屋で旧交を温め、改めてよき同窓生に恵まれたことを感謝した次第です。

残念ながら今回の中止のホームカミングデーには不参加となってしまった同窓生も、同窓会総会をはじめとした同窓会のイベントには、ぜひ、ご参加下さい。

今秋は13期生のホームカミングデイとなります。同窓会のよき伝統を今後ともぜひ受け継いでください。

どういたしまして!!

(12期生 刀禍 誠也)



会計報告

(収入)

¥3,000 × 88人
= ¥264,000
計 ¥264,000

(支出)

幹事代行費用
232,846円
(案内状郵送費、飲食代、
お花代、雑費、運営一式含む)

(残金)

¥31,154
※尚、残金は、まほろば
の会に寄附させていた
だきます。

S51、S52年
生まれ

祝! 2nd成人式!

13期生ホームカミングデー開催!!

今年40歳を迎える13期生の皆さん(S51、S52年生まれ)、お待たせしました!! 同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思い出に残る1日を過ごしましょう!!

一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 平成28年10月8日(土)

- 一次会／受付13:30 開会14:00
獨協埼玉中学高等学校 小ホール
- 二次会／18:00頃～
せんげん台駅周辺を予定



実行委員／加藤志津 阿部(宮越)美沙 西村(石塚)敦子 岩田真夢 小林信也
宇田川吾郎 犬養友範 竹内友洋 櫻井広仁

詳細はこちら!! ▶ Facebookページ 「13期獨玉」